

**教育に関する事務の管理及び執行の状況の  
点検及び評価の結果に関する報告書  
【令和4年度分】**

**令和5年11月  
魚沼市教育委員会**

# 目 次

1 制度について .....	2
2 目的について .....	2
3 学識経験者の知見の活用 .....	3
4 対象事業及び評価方法 .....	3
(1)対象事業 .....	3
(2)評価方法 .....	4
5 令和4年度事業 教育に関する事務の点検評価報告書 .....	6

# 点検及び評価制度の概要について

## 1 制度について

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律(以下「地教行法」という。)の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」のひとつとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられました。

### 【根拠法令】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 目的について

教育委員会は、首長から独立した立場で、地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会です。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、様々な属性を持った複数の委員による合議により指揮監督し、中立的な意思決定を行うものとされています。

事務の点検・評価は、上記地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が教育長以下事務局を含め、教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、重点化等を図るべき分野を明確化するなど、市民が求める質の高い教育環境を提供することに資するとともに、

住民に対する行政の説明責任(アカウンタビリティ)を果たすための体制を充実させ、教育行政に対する市民の信頼性の向上を図ることを目的としています。

### 3 学識経験者の知見の活用

点検・評価を実施するにあたり、地教行法第26条第2項の規定による「教育に関し学識経験を有する者の知見」の活用を図るため、「教育に関する事務の点検及び評価実施要綱」を定め、選任した学識経験者2名から外部評価を受けるという形で実施しました。

魚沼市教育委員会 事務点検評価者

氏 名	経 歴 等
南方 伸之 氏	新潟県立小出高等学校長
瀧澤 治 氏	魚沼市文化協会長

### 4 対象事業及び評価方法

#### (1)対象事業

本年の点検・評価は、令和4年度における教育委員会の権限に属する事務のうち実際に教育委員会が管理・執行している事務事業の中から「第二次魚沼市総合計画 後期基本計画 実施計画」に登載された事業の中から次の事業を点検・評価の対象としました。

点検・評価対象事業

No.	事 業 名	担 当 課
1	教育支援事業	学校教育課
2	総合学習支援事業	
3	コミュニティスクール推進事業	
4	グローバル人材育成事業	
5	小出郷文化会館管理運営事業	生涯学習課
6	うおぬま市民大学事業	

No.	事業名	担当課
7	埋蔵文化財調査活用事業	生涯学習課
8	市民スポーツ普及事業	
9	ひとり親家庭等医療費助成事業	子ども課
10	地域療育支援事業	
11	不妊・不育治療費助成事業	
12	乳幼児健診事業	

## (2)評価方法

評価対象事業については、「魚沼市行政評価 事務事業評価 実施結果報告書(令和5年9月)」として既に公表されています。

こうしたことから事務点検評価者には、事業の内容、成果、課題並びに内部評価の結果等について説明し、外部評価として客観的な視点から点検・評価を実施していただきました。

点検・評価の結果については、「第二次総合計画後期基本計画実施計画事業シート 兼 事務事業評価シート」に外部評価欄を設け、事務点検評価者のコメントを追記しています。

### 点検評価の経過

月 日	会 議 名	内 容
9月29日	第1回 教育に関する事務の点検及び評価(令和4年度実施事業)	委嘱状交付 子ども課所管事業の点検・評価
10月6日	第2回 教育に関する事務の点検及び評価(令和4年度実施事業)	学校教育課及び生涯学習課所管事業の点検・評価
11月1日	第3回 教育に関する事務の点検及び評価(令和4年度実施事業)	点検・評価結果とりまとめ
11月14日	魚沼市教育委員会協議会	点検・評価結果報告

## 【参考】内部評価について

### 一次評価(担当課評価)

事業担当課において、目標の達成度や執行状況等を踏まえた「事業の達成度」をSABCDの5段階からの選択式で評価し、「事業の課題」及び「今後の方向性」を記述式で評価しました。

#### ◆評価項目と評価の内容



評価項目	評価内容
事業の達成度	S評価 目標超過達成
	A評価 目標達成
	B評価 相当程度進展あり
	C評価 進展が大きくない
	D評価 目標に向かっていない
事業の課題 今後の方向性	記述式

令和4年度事業  
教育に関する事務の点検評価報告書

## 第二次総合計画後期基本計画実施計画事業シート 兼 事務事業評価シート

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

## 1. 基本情報

事業No.	371	事業名	教育支援事業				評価担当	部	教育委員会
							課	学校教育課	
重点		開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	係	庶務係	
		終了(予定)年度	令和 7 年度			項	担当者		
対象	児童・生徒	区分	■ ソフト □ ハード			目	連絡先 (IP)		
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策				まち・ひと・しごと総合戦略					
重点施策				関連目標					
関連する分野別施策番号			施策						
5-3-1	教育・文化	自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進							
5-3-2	教育・文化	市民が参加し世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくり							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs			SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	

## 2. 事業の目的

学校における会計年度任用職員（介助員・学習補助員、スクールサポートスタッフ等）の適正な配置や、教職員の資質向上のための研修機会の確保、スキー授業の補助、部活動支援を通じて学校現場における教育活動の支援を図ります。市内小中学校（堀之内小学校、小出小学校、湯之谷小学校、須原小学校、小出中学校）にて開設している「通級指導教室」を運営し、特別な支援が必要な児童生徒への支援を図ります。

## 3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	学校介助員（41人）学習補助（6人）、指導主事等（1人）、スクールソーシャルワーカー（2人）、スクールサポートスタッフ（5人）の配置、各種研修会講師賃金、学校支援者補償、教育振興会や小中学校部活動への補助金（中学校5校、小学校1校に補助）、スポーツ振興センター共済負担金、小中学校スキー授業リフト使用料ほか
令和5年度	学校介助員（44人）【拡充】学習補助（6人）、スクールサポートスタッフ（6人）【拡充】、学校教育課への事務補助員（1人）【新規】の配置、部活動コーディネーター業務を行う指導主事（1人）【新規】の配置、各種研修会講師賃金、学校支援者補償、教育振興会や小中学校部活動への補助金（中学校5校、小学校1校に補助）、スポーツ振興センター共済負担金、小中学校スキー授業リフト使用料ほか。なお、特別支援に関わる指導主事、スクールソーシャルワーカーについては、教育センター運営事業に事業を移管しました。

## 4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	113,639	130,717	149,173	149,173	149,173	691,875	
財源内訳	特定財源	8,277	18,786			27,063	
	一般財源	105,362	111,931			217,293	

## 5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3～R7					最終目標値	単位	
				R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績			
1		(参考) 介助員数	37	目標値	40	43	44	44	44	-	人
				実績値	40	41					
				達成率	100.0%	95.3%	%	%	%		
2		(参考) 学習補助員数	5	目標値	5	6	6	6	6	-	人
				実績値	5	6					
				達成率	100.0%	100.0%	%	%	%		
3				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		
4				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		



## 6. その他特記事項

--

## 7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
5-3-1 教育・文化 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	特別な支援が必要な児童生徒一人一人の実態に応じ、きめ細かに生活の補助を行うことが求められます。担任一人では対応が困難な状況があり、必要に応じた職種の会計年度任用職員を配置することで教育支援の充実を図ることができ、施策に対して貢献できています。
5-3-2 教育・文化 市民が参加し世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくり	少子化等による中学校部活動に関する諸問題を解決するため、部活動の地域移行に向けた取組みが求められています。それに伴い、地域とのコーディネーター業務を担う指導主事を新たに配置し、生徒、保護者、地域指導者等のニーズを調整することにより、世代を超えた関わりが期待できることから、施策に対して貢献できています。

## 8. 事務事業の実績と成果

実績	個別指導や特別な支援が必要な児童生徒の支援体制を強化するため、小学校に介助員31名、学習補助1名、中学校に介助員を10名、学習補助5名を配置し、きめ細やかな学習体制を整えました。また、児童数が多い小学校に対してスクールサポートスタッフ5名を配置することにより、教職員の多忙化解消についても取組みました。そのほか、部活動を通じた心身の健全な育成を目指して、遠征費等の支援を行いました。
成果	特別な支援を必要とする児童生徒数は増加していますが、学校教職員との連携により必要に応じた職種の会計年度任用職員を適正に配置することができました。



## 9. 事後評価（担当課評価）

	関連施策名	貢献度評価		評価理由（施策に対してどのように貢献したか）
	施策への貢献度	5-3-1 教育・文化 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	高い やや高い やや低い 低い	やや高い
5-3-2 教育・文化 市民が参加し世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくり		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	様々な年齢の会計年度任用職員を配置することで、児童生徒達が世代を超えた関わりを持つことができていることから、施策に対して貢献できています。
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
事業の達成度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）	
	B	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない	特別な支援を必要とする児童生徒数は増加していますが、学校教職員との連携により必要に応じた職種の会計年度任用職員を適正に配置することができたため、目標を概ね達成できたと評価できます。	
事業の課題	特別な支援を必要とする児童生徒が年々増加傾向にあり、教育的ニーズも多様になっています。今後も就学相談の充実へ努め、個々のニーズに合った適切な学びの場への就学を実現していくとともに、介助員や学習補助の人的配置、環境整備等の支援体制を更に強化していく必要があります。			
今後の方向性	より細やかな対応により児童生徒の健全な発育、学校現場の負担軽減のため、引き続き会計年度任用職員等の配置を進めていきます。			
外部評価	子どもたちの人口が減少傾向にある中、特別な支援を必要とする児童生徒が増加しており、学校現場のマンパワーが不足していることに対し、支援体制を強化して対応していることを評価します。人材確保や事業の複雑さは大変ですが、今後も会計年度任用職員の適正な配置により、適切な事業の推進に努めてください。			

## 第二次総合計画後期基本計画実施計画事業シート 兼 事務事業評価シート

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

## 1. 基本情報

事業No.	376	事業名	総合学習支援事業				評価担当	部	教育委員会
重点	重点	開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	10	課	学校教育課
		終了(予定)年度	令和 7 年度					係	学事係
対象	児童・生徒	区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード	項目	1	目	3	担当者	
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策						まち・ひと・しごと総合戦略			
重点施策	郷土愛の醸成			関連目標					
関連する分野別施策番号				施 策					
5-3-1	教育・文化	自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進							
5-3-2	教育・文化	市民が参加し世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくり							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs			SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	

## 2. 事業の目的

魚沼の自然環境や文化に直接触れる体験等により総合的な学習の時間を支援します。これらの体験等を通じ、感性豊かで、たくましい子どもを育てる教育環境の整備に貢献するほか、ふるさとの魅力を認識することで、進学・就職等により魚沼を離れても「ふるさと」へのUターンが期待できます。

## 3. 主な事業内容

年 度	事 業 内 容
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土芸能（三味線、太鼓、踊り等）の伝承、地域芸能祭への参加</li> <li>学校田・畑の管理委託、稲作・農作業体験</li> <li>職場体験、キャリア教育、進路学習</li> <li>自然環境保全活動（ふるさとの森整備ほか）</li> <li>防災学習プログラム体験</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土芸能（三味線、太鼓、踊り等）の伝承、地域芸能祭への参加</li> <li>学校田・畑の管理委託、稲作・農作業体験</li> <li>職場体験、キャリア教育、進路学習</li> <li>自然環境保全活動（ふるさとの森整備ほか）</li> <li>防災学習プログラム体験</li> </ul>

## 4. 総事業費

(単位：千円)

年 度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金 額	4,437	4,690	8,115	8,265	8,265	33,772	
財源内訳	特定財源	0	3,700			3,700	
	一般財源	4,437	990			5,427	

## 5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位	
				実績	実績	実績	実績	実績			
1		児童・生徒の「ふるさと」への意識向上 アンケートで地域に興味を持つようになったと回答した子の割合	77	目標値	78	78	79	79	80	80	%
				実績値	77.0	78.6					
				達成率	98.7%	100.7%	%	%	%		
2				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		
3				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		
4				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		

6. その他特記事項

--

7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
5-3-1 教育・文化 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	総合的な学習の直接触れる体験学習等により魚沼の自然環境や文化に触れる教育の推進に貢献します。
5-3-2 教育・文化 市民が参加し世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくり	郷土芸能や学校田、畑の指導を地域の方から協力していただいております、更に地域や家庭が学校活動に気軽に積極的に世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくりに貢献します。

8. 事務事業の実績と成果

実績	米作りや野菜作りの講師やボランティア、郷土芸能を伝承している地域の方などから指導を受けたほか、総合学習、キャリア教育のための校外学習等のバス運行を268回実施し、地域の伝統文化や自然環境等について知識を深める学習を実施しました。
成果	地域の伝統文化や自然環境等について、学習先を市内にするよう心がけたことで、児童、生徒は地域を知り、地域の人は学校を知ることができ、その結果として子どもたちの地域への愛着や郷土愛の醸成が図られました。



9. 事後評価（担当課評価）

	関連施策名	貢献度評価		評価理由（施策に対してどのように貢献したか）
	施策への貢献度	5-3-1 教育・文化 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	高い やや高い やや低い 低い	やや高い
5-3-2 教育・文化 市民が参加し世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくり		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	米づくりなどの体験や伝統文化の継承など、外部の指導者を学校に招いたり、地域の人や文化に接し、豊かな感性や人間性を醸成することができ、地域に開かれた学校づくりという施策の貢献を果たすことができました。
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
事業の達成度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）	
	A	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない	各学校が創意工夫を自然体験や地域交流を児童生徒に経験させており、地域との交流ができていたため「ふるさと」への意識向上の目標を達成することができました。	
事業の課題	学校と行政の連携を強化し、学習内容に沿った適切な学習場所の情報収集及び共有が必要です。校外学習先や講師の人材情報の収集と学校への情報提供を継続するとともに、総合学習、キャリア教育の充実を図る必要があります。			
今後の方向性	学校と行政の連携を強化し、自然環境や文化に直接触れる体験や地域との交流など学校への情報提供を継続するとともに、総合学習、キャリア教育への支援を図ります。			
外部評価	自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進、また地域との交流により自分たちの「ふるさと意識」の向上、これらの体験が糧となり将来リターンにつながるものと考えます。子どもたちの興味関心を引く、楽しい授業が展開されるよう、支援者の確保も含め、事業の発展と推進に努めてください。			

第二次総合計画後期基本計画実施計画事業シート  
兼 事務事業評価シート

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

1. 基本情報

事業No.	516	事業名	コミュニティスクール推進事業				評価担当	部	教育委員会
重点	重点	開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	10	課	学校教育課
		終了(予定)年度	令和 7 年度					係	庶務係
対象	児童・生徒	区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード	項目	3	担当者			
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策			まち・ひと・しごと総合戦略						
重点施策				関連目標					
関連する分野別施策番号		施策							
5-3-1	教育・文化	自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進							
5-3-2	教育・文化	市民が参加し世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくり							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs			SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	

2. 事業の目的

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図り、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを目指します。

3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	全小中学校14校でのコミュニティ・スクール設置 ・コミュニティスクール推進員の配置（5人） ・研修会等の開催 ・学校運営協議会の活動費補助
令和5年度	全小中学校13校でのコミュニティ・スクール設置 ・コミュニティスクール推進員の配置（5人） ・研修会等の開催 ・学校運営協議会の活動費補助

4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	2,220	4,150	6,014	6,000	6,000	24,384	
財源内訳	特定財源	0				0	
	一般財源	2,220	4,150			6,370	

5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1		学校運営協議会設置学校数	—	目標値	1	14	13	13	13	校
				実績値	1	14				
				達成率	100.0%	100.0%	%	%		
2		学校運営協議会 委員数	—	目標値	10	122	122	122	122	人
				実績値	10	125				
				達成率	100.0%	102.4%	%	%		
3		学校運営協議会開催数 地域との連携強化を目指し、年3回開催 を目標とする。	—	目標値	—	39	36	36	36	回
				実績値	—	45				
				達成率	%	115.3%	%	%		
4				目標値						
				実績値						
				達成率	%	%	%	%		

6. その他特記事項

--

7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
5-3-1 教育・文化 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めることで、感性豊かで、たくましい子どもを育てる教育環境をつくります。
5-3-2 教育・文化 市民が参加し世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくり	コミュニティ・スクールの活動を通じて、地域や家庭が学校活動に気軽に、積極的に参加できる地域に開かれた学校づくりを推進します。

8. 事務事業の実績と成果

実績	<p>全小中学校14校でコミュニティ・スクールに移行しました。また、事務負担を軽減するためコミュニティスクール推進員を5人配置し、制度の理解と学校運営力の向上を目的に研修会を計7回開催しました。</p> <p>学校運営協議会の活動費補助として1校当たり5万円の補助を行いました。</p>
成果	<p>コミュニティ・スクールの設置により、地域や家庭の声が学校運営に反映される仕組みが整いました。CS推進員を配置したことにより、学校教職員等の負担軽減が図られました。研修会を開催したことにより、委員等の制度への理解と学校運営力の向上が図られました。学校運営協議会の活動費補助により、適正な学校運営協議会活動が行われ、地域と学校が協力し合い学校運営を行いました。</p>



9. 事後評価（担当課評価）

施策への貢献度	関連施策名	貢献度評価		評価理由（施策に対してどのように貢献したか）
	5-3-1 教育・文化 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	高い やや高い やや低い 低い	高い	学校運営協議会に家庭、地域、学校の代表者が参加することで、目標や理念などを共有し、協力しながら子どもたちを育てることができます。
5-3-2 教育・文化 市民が参加し世代を超えて交流する地域に開かれた学校づくり	高い やや高い やや低い 低い	高い	コミュニティ・スクールの全校導入により、地域に開かれた学校づくりが推進されます。	
事業の達成度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）	
A	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない		全ての指標で目標を達成できたことと、研修会を行い委員等の制度への理解と学校運営力の向上が図られたため、目標達成と評価しました。	
事業の課題	コミュニティ・スクール制度が本格導入され令和4年度の目標は達成できましたが、この仕組みが有効に機能していくには、時間と経験が必要となります。今後も制度が定着するまでの間、研修会を開催するなどして、学校、家庭、地域がお互いを理解し、信頼関係を深める必要があります。			
今後の方向性	委員や学校教職員、コーディネーター等が制度理解を深めていくと同時に、学校や地域の課題を委員全員で担っていけるようになるために、必要なサポートを行っていきます。			
外部評価	事業が軌道に乗りつつあるものの、人材の確保や地域の方々の協力体制の確立など、困難が予想されますが、「総合学習支援事業」等関連した事業との連携を図り、目標に向かってさらなる事業の推進に努めてください。			



シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

## 1. 基本情報

事業No.	517	事業名	グローバル人材育成事業				評価担当	部	教育委員会
重点	重点	開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	10	課	学校教育課
		終了(予定)年度	令和 7 年度					係	教育センター
対象	児童・生徒	区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード	項目	1	目	3	担当者	
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策				まち・ひと・しごと総合戦略					
重点施策	2-2	地域人材の育成			関連目標				
関連する分野別施策番号				施策					
5-3-1	教育・文化	自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs			SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	

## 2. 事業の目的

外国語教育や国際交流を通じ、国際社会で通用する能力やグローバルな視点・経験をもって、地域の活性化および持続的発展に貢献する人財を育成します。

## 3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際大学との交流会（小学校全校）</li> <li>小学校英語クラブ活動、FMうおぬまによるクラブ活動の放送</li> <li>小学校低学年「E-TIME」（Pre外国語活動）</li> <li>「GLOBAL NEWS」による情報提供（スピーチ等コンクール情報を定期的に発信）</li> <li>英語検定料補助（受験料の1/2を年2回まで補助）</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際大学との交流会（小学校全校）</li> <li>小学校英語クラブ活動、FMうおぬまによるクラブ活動の放送</li> <li>小学校低学年「E-TIME」（Pre外国語活動）</li> <li>「GLOBAL NEWS」による情報提供（スピーチ等コンクール情報を定期的に発信）</li> <li>英語検定料補助（受験料の1/2を年2回まで補助）</li> </ul>

## 4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	21,840	21,625	24,607	25,000	25,000	118,072	
財源内訳	特定財源	300	0			300	R3結基金
	一般財源	21,540	21,625			43,165	

## 5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
1		英語検定受検率 補助申請者数/中学校生徒数 (H30 18%)	R3新規事業	目標値 30 実績値 22	35 25	40	45	50	50	%
2		(参考) 小学校児童受検者数 補助申請者数	R3は補助対象外	目標値 実績値 -	22				-	人
3		(参考) 中学校生徒受検者数 補助申請者数		目標値 実績値 187	194				-	人
4				目標値 実績値						
				達成率	%	%	%	%	%	

## 6. その他特記事項

--

## 7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
5-3-1 教育・文化 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	ネイティブな英語に触れ、英語によるコミュニケーション体験をしたり、英語圏における生活や文化を学習したりすることで、国際社会で通用する能力やグローバルな視点・経験をもって、地域の活性化および持続的発展に貢献する人財を育成します。

## 8. 事務事業の実績と成果

実績	ALTについては、外国出身3人、日本出身3人の計6名を配置し、授業支援を行いました。また、各小学校の英語クラブの活動を支援し、クラブの活動内容はコミュニティFMで放送しました。さらにグローバルな視点を身に付け、英語や世界への興味・関心を高めるために国際大学との交流事業を実施したほか、ALTによる小学校低学年への英語活動「E-Time」や保育園への訪問「English Party!」の開催、GLOCAL NEWS発行による情報提供、英語検定料の補助は、小学生にも対象範囲を広げて実施しました。
成果	前年度はコロナ禍で中止となった国際大学との交流を実施し、参加した児童からは「様々な国の人たちと交流ができた」「世界は日本だけではないと実感できた」との声が聞かれました。各小学校の英語クラブの活動は、語学や国際理解について子どもたち自らテーマを設定し、自主的に調べることで、海外の文化に対する興味・関心を高めることに役立ちました。小学校低学年への外国語活動や保育園でのEnglish Party!では、「楽しみながら英語に触れることができた」「回数を増やしてほしい」という感想も聞かれ、早い段階から英語に触れる良い機会となっています。英検補助は、小中合わせて延べ216名へ補助し、中学生の受検率は微増となりました。

## 9. 事後評価（担当課評価）

施策への貢献度	関連施策名	貢献度評価		評価理由（施策に対してどのように貢献したか）
	5-3-1 教育・文化 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	高い やや高い やや低い 低い	高い	外国における生活や文化、言語を学習することは、体験活動を重視した教育の実践に照らし、施策に大きく貢献している事業です。
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
	高い やや高い やや低い 低い			
事業の達成度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）	
	B	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない	英語検定受検率が目標を下回りましたが、前年度中止となった国際大学との交流事業を実施し、参加した子どもたちにとってグローバルな視点を持つ機会となりました。小学校での英語クラブの活動やALT派遣による英語授業等は計画どおり実施することができました。	
事業の課題		英語検定料補助金については、受検率を向上させるための制度の周知や児童生徒の検定受検への意欲の向上が課題です。 また、グローバルな視点を持つために、国際大学との交流のほかにも多様な文化や価値観に対する理解を深める機会を設ける必要があります。		
今後の方向性	グローバルな視点を持ち、世界の人とコミュニケーションをとる楽しさを味わう機会を設け、英語学習への興味を高めるため、GIGAスクール構想により実現したICT環境を最大限に活用し、オンライン会議サービスを用いた海外の学校との国際交流に取り組んでいきます。			
外部評価	国際大学等との交流や、英語検定料補助などにより、子どもたちがグローバルな視点を身に着け、地域社会と交流し、外国文化に興味を持ち、英会話にも親しみ、将来は国際人として活躍される人が多く出てくることを期待します。今後も事業の推進及び強化に努めてください。			

第二次総合計画後期基本計画実施計画事業シート  
兼 事務事業評価シート

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

## 1. 基本情報

事業No.	73		事業名	小出郷文化会館管理運営事業				評価担当	部	教育委員会	
重点	開始年度	令和 3 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度	会計	一般	款		10	課	生涯学習課
	項目	4		係			社会教育係				
対象	全市民	区分	<input type="checkbox"/> ソフト <input checked="" type="checkbox"/> ハード	目			6		担当者		連絡先 (IP)
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策				まち・ひと・しごと総合戦略							
重点施策				関連目標							
関連する分野別施策番号			施策名								
5-4-1	教育・文化		芸術・文化活動の促進								
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号											
関連SDGs	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	

## 2. 事業の目的

小出郷文化会館を利用する全ての来館者が、安心して安全な舞台出演や舞台鑑賞ができることを図ります。また、快適に過ごせる施設を目指します。

## 3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	小出郷文化会館屋根・屋上防水改修工事
令和5年度	小出郷文化会館屋根・屋上防水改修工事、小出郷文化会館トイレ改修工事

## 4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	132,574	133,944	311,196	135,000	135,000	847,714	
財源内訳	特定財源	0	0			0	
	一般財源	132,574	133,944			266,518	

## 5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名	現状値 (R2年度)	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位	
		指標の説明									
1		中長期大規模改修計画の進捗率 予算ベースの工事費を5年間で100%としました。	0	目標値	13	42	59	84	100		%
				実績値	13	23					
				達成率	97.8%	54.8%	%	%	%		
2				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		
3				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		
4				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		



6. その他特記事項

--

7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
5-4-1 教育・文化 芸術・文化活動の促進	幅広い年代のニーズに応えるため大規模改修を実施し、地域文化の核施設として利用者が安心・安全に利用できることを図ります。また、利便性を向上させることで芸術・文化活動の促進に貢献します。

8. 事務事業の実績と成果


実績	小出郷文化会館屋根・屋上防水改修工事契約を締結しました。また、エレベーターの改修工事を行いました。
成果	年度途中にエレベーターの不具合が発生しましたが、施設運営に支障なく改修することができました。

9. 事後評価（担当課評価）

施策への貢献度	関連施策名	貢献度評価	評価理由（施策に対してどのように貢献したか）
	5-4-1 教育・文化 芸術・文化活動の促進	高い やや高い やや低い 低い <b>やや高い</b>	芸術・文化活動を促進している来館者が、安心して安全な舞台出演や舞台鑑賞をするために実施する施設の大規模改修は、施策に対する貢献度がやや高いと評価します。
		高い やや高い やや低い 低い	
		高い やや高い やや低い 低い	
		高い やや高い やや低い 低い	
事業の達成度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）
	<b>B</b>	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない	屋根・屋上防水改修工事を2か年の継続工事として契約しました。緊急的なエレベーターの不具合にも早急に対応し、安心して施設を利用することができました。
事業の課題	施設の老朽化に伴い、修繕を行わなければならない箇所、また、昨今の利用者ニーズにそぐわない設備などが多く改修が間に合っていないことが課題です。		
今後の方向性	施設改修について、指定管理者との連絡を密にし、優先順位を付けながら、利用者が安心、安全で快適に利用できる施設となるように管理していきます。		
外部評価	<p>日常の運営は指定管理事業としていますが、施設が大きく保守管理は大変だと思えます。講演会、リサイタルなどの会場を快適に過ごすための修理、大規模な改修工事など、施設の適切で永続的な管理により、今後長きにわたり「市民の文化・芸術の場」となるよう努めてください。指定管理の運営とともに高く評価します。</p>		

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

1. 基本情報

事業No.	435	事業名	うおぬま市民大学事業				評価担当	部	教育委員会
重点		開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	10	課	生涯学習課
		終了(予定)年度	令和 7 年度					係	社会教育係
対象	全市民	区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード			項目	4	担当者	
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策				まち・ひと・しごと総合戦略					
重点施策				関連目標					
関連する分野別施策番号			施策名						
5-1-1	教育・文化	誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実							
5-1-2	教育・文化	生涯学習推進体制の充実							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs		SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	

2. 事業の目的

- ・魚沼市民が生涯学習に取り組むことができるように学習機会を提供し、市民が学ぶ楽しさを知り、様々な知的探求を進めることにより豊かな生活の実践を手助けします。
- ・年間2回の大規模講演会を実施します。

3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模講演会を年2回実施。</li> <li>・ありがとう作文優秀賞発表会を兼ねる。</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模講演会を年2回実施。</li> <li>・ありがとう作文優秀賞発表会を兼ねる。</li> </ul>

4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	251	408	726	600	600	2,585	
財源内訳	特定財源	0				0	
	一般財源	251	408			659	

5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位	
1		参加者数 延べ講演会参加者数200人×2回	96	目標値	400	400	400	400	400	400	人
				実績値	129	206					
				達成率	32.3%	51.5%	%	%	%		
2		受講者の満足度 アンケート結果から、参加者数の満足度を算出します。	100	目標値	90	90	90	90	90	90	%
				実績値	98	98					
				達成率	108.9%	108.9%	%	%	%		
3				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		
4				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		

## 6. その他特記事項

--

## 7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
5-1-1 教育・文化 誰でも、いつでも学べ、 学習成果を生かす仕組み の充実	大規模な講演会を開催することにより、子どもから高齢者まで学ぶことができる機会を提供します。さらに、ありがとう作文発表会等の他事業と連携し、それらの事業で得られた学習成果の発表の場として貢献することができます。
5-1-2 教育・文化 生涯学習推進体制の充実	公民館講座や生涯学習関係団体と連携し、様々な分野の学習機会を幅広い世代へ提供することで、市民の新たな取り組みに発展させ、生涯学習推進に貢献します。

## 8. 事務事業の実績と成果

実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回「歌で繋ごう地域の絆」～声楽家の私が体験してきた事と未来へのバトン～ 講師：声楽家 高波礼子（魚沼市出身）</li> <li>第2回「魚沼地方で育った私がアナウンサーになったワケ」～テレビ現場の12年 講師：T e N Yテレビ新潟アナウンサー兼報道記者 大平真理子 ありがとう作文優秀賞発表会と同時開催</li> </ul>
成 果	アンケート結果では、講演内容について参加者の98%が満足と回答しており、参加者にとって有意義な時間を提供することができました。



## 9. 事後評価（担当課評価）

	関連施策名	貢献度評価		評価理由（施策に対してどのように貢献したか）
	施 策 へ の 貢 献 度	5-1-1 教育・文化 誰でも、いつでも学べ、 学習成果を生かす仕組み の充実	高い やや高い やや低い 低い	やや高い
5-1-2 教育・文化 生涯学習推進体制の充実		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	公民館講座や生涯学習関係団体と連携し、様々な分野の学習機会を幅広い世代へ提供することで、市民の新たな取り組みに発展させ、生涯学習推進に貢献しました。
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
事 業 の 達 成 度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）	
	B	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない	参加者数は目標値には届きませんでしたが、参加者の満足度は目標値を達成することができたことから、相当程度の進展があったといえます。	
事業の課題	講演会の参加者の多くが高齢者層であることから、より幅広い世代の人へ参加を促す工夫が必要です。			
今後の方向性	関係機関や他部門との連携のほか、幅広い世代が興味を持って参加できる講演会の内容や日程、実施回数を検討していきます。			
外部評価	年2回の講演会では、テーマの企画、講師の選定、広報の工夫などにより、幅広い年齢層を対象にした学ぶ場の提供、ありがとう作文発表会などの学習成果は高く評価します。しかしながら、参加者は、高齢の方がほとんどの状況とのもので、内容選定に工夫を凝らすなどし、幅広い年齢層の参加となるように努めてください。またこの事業は多くの方の参加により、一層の価値観を見出すものと考えます。			

第二次総合計画後期基本計画実施計画事業シート  
兼 事務事業評価シート

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

1. 基本情報

事業No.	451	事業名	埋蔵文化財調査活用事業				評価担当	部	教育委員会
重点		開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	10	課	生涯学習課
		終了(予定)年度	令和 7 年度					係	文化財係
対象	全市民	区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード			項	4	担当者	
						目	4	連絡先 (IP)	
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策				まち・ひと・しごと総合戦略					
重点施策				関連目標					
関連する分野別施策番号			施策名						
5-4-3	教育・文化	文化財の保護と活用							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs			SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン	

2. 事業の目的

市内に所在する埋蔵文化財保護のため、開発行為などで破壊される遺跡の記録・保存・公開活用をします。市指定史跡黒姫洞窟遺跡及び歴史の道百選八十里越の国史跡登録を目指し、記録・保存を行い、成果を積み上げていきます。発掘調査で得られた資料・記録の整理・分析・研究を行い、遺跡の性格解明及び調査報告書を定期的に刊行していきます。発掘調査成果物の収納・管理を図りながら、展示して市民に公開し、地元の歴史への理解と関心を高めていきます。

3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>発掘調査・報告（大和沢遺跡報告書刊行）</li> <li>開発に伴う試掘確認調査等（伊米ヶ崎中央地区、金ヶ沢地区、干溝地区、中家・池平地区ほか）</li> <li>遺跡本発掘調査（宮田遺跡、谷内遺跡）</li> <li>夏休み縄文体験教室、遺跡報告会、企画展等、パンフレット等作成</li> <li>黒姫洞窟遺跡第20次発掘調査</li> <li>歴史の道百選八十里越 発掘調査等、調査保存整備委員会、総合計画策定 ほか</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>発掘調査・報告</li> <li>開発に伴う試掘確認調査等（伊米ヶ崎中央地区、金ヶ沢地区、中家・池平地区ほか）</li> <li>遺跡本発掘調査（谷内遺跡他）</li> <li>夏休み縄文体験教室、遺跡報告会、企画展等、パンフレット等作成</li> <li>黒姫洞窟遺跡調査</li> <li>歴史の道百選八十里越 発掘調査等、調査保存整備委員会、総合計画策定 ほか</li> </ul>

4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	59,913	68,431	114,654	100,000	100,000	442,998	
財源内訳							
特定財源	35,765	46,082				81,847	
一般財源	24,148	22,349				46,497	

5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1		講座・体験教室・企画展等の開催数	2	目標値 4	4	4	4	4	4	回/年
		講座や体験教室、企画展等を開催し、市民にPRを行う。		実績値 6	7					
2		講座・体験教室等の参加者数 講座や体験教室の参加者を増やし、市民の歴史・文化への認識を広める。	91	目標値 500	500	500	500	500	500	人/年
				実績値 342	297					
3		企画展等の見学者数 企画展等を通じて、市民の歴史・文化への認識を深める。	0	目標値 800	800	800	800	800	800	人/年
				実績値 1,365	984					
4				目標値						
				実績値						
				達成率	%	%	%	%		

## 6. その他特記事項

県営圃場整備に伴う遺跡調査では、試掘調査の結果により、本発掘調査となる場合があり、事業費が大幅に増加する可能性があります。今後も数か所で広大な面積の圃場整備の計画があります。

## 7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
5-4-3 教育・文化 文化財の保護と活用	開発により破壊されていく埋蔵文化財を調査・記録・分析し、その成果を展示・公開活用を行い、講座や体験教室等を実施することで市民の郷土愛の醸成を図るとともに、観光資源としても市外に向けて魚沼市の魅力を発信します。

## 8. 事務事業の実績と成果

実績	県営圃場整備、道路拡幅工事等開発に伴う試掘確認調査、本発掘調査について実施しました。事業最終年度である大和沢遺跡は発掘調査報告書を刊行しました。コロナ禍で休止していた黒姫洞窟遺跡発掘調査を再開しました。歴史の道八十里越については、現地測量調査及び踏査、文化庁調査官と2市1町（三条市・只見町）合同現地踏査、調査保存整備委員会2回開催し、国指定史跡を目指し、2ヵ年計画で総合計画を策定中です。これら魚沼市の歴史について、調査・研究した成果を広く市民に触れる機会とするため、企画展、講演会、体験教室、遺跡報告会等を実施し、毎年着実に参加者を増やしています。
成果	文化財保護法により大規模開発に伴う試掘確認調査及び発掘調査を適切に実施し、法令に則って圃場整備事業、県道路改良事業等が進捗するよう寄与しました。また、遺跡発掘調査の現地公開、遺跡報告会を実施し、魚沼市の歴史について広く公開しました。企画展、ギャラリートーク、講演会、体験教室、遺跡報告会、学校への出前授業等実施し、多くの参加者を集め文化財保護思想の啓発に寄与しました。歴史の道八十里越についてはこれまでの調査・研究成果を踏まえ、文化庁の「指定相当の埋蔵文化財包蔵地リスト」の新潟県第一期リスト搭載候補に唯一挙げられる評価を受けました。



## 9. 事後評価（担当課評価）

施策への貢献度	関連施策名	貢献度評価	評価理由（施策に対してどのように貢献したか）
	5-4-3 教育・文化 文化財の保護と活用	高い やや高い やや低い 低い	やや高い
	高い やや高い やや低い 低い		
	高い やや高い やや低い 低い		
	高い やや高い やや低い 低い		
事業の達成度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）
	<b>B</b> S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない		講座・体験教室等の参加者数は目標値を下回ったものの、講座・体験教室・企画展等の開催数及び企画展等の見学者数は目標値を上回ったため。
事業の課題	今後も多くのほ場整備等の開発が行われるものの、必要な考古学の学芸員の確保等調査体制整備が必要です。		
今後の方向性	埋蔵文化財の適切な保護とともに、市内小中学校を遺跡発掘現場に招く等、市民が自らの郷土の歴史を学ぶ機会を創出すること、観光資源となる活用方法の創出を検討していきます。		
外部評価	埋蔵文化財の適切な保護・管理は、地域の歴史文化としての宝であり市民の関心も高く、郷土の歴史や文化財について研究する事は大切な事業と考えます。遺跡調査の予算編成や人材確保など困難で苦勞の多いものと思いますが、今後も事業の推進に努めてください。遺跡調査の現地公開や発掘された遺物の展示、講演会など多く市民への啓発がなされており高く評価します。		

第二次総合計画後期基本計画実施計画事業シート  
兼 事務事業評価シート

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

1. 基本情報

事業No.	460	事業名	市民スポーツ普及事業				評価担当	部	教育委員会
重点	重点	開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	10	課	生涯学習課
		終了(予定)年度	令和 7 年度					項	5
対象	全市民	区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード	目	1	担当者			
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策						まち・ひと・しごと総合戦略			
重点施策	2-2	地域人財の育成			関連目標				
関連する分野別施策番号				施策名					
3-1-1	健康・福祉	健康づくりの推進							
5-5-1	教育・文化	誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs			SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	

2. 事業の目的

気軽に参加できるスポーツフェスティバルや各種スポーツ教室等を開催することで、市民の健康増進とスポーツ実施率の向上を目指します。

3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寿和温泉ジュニア水泳教室の実施</li> <li>・小学校親善クロスカントリースキー大会の開催</li> <li>・市民スポーツフェスティバル事業の実施</li> <li>・各種スポーツ教室等の実施</li> <li>・スキーリフトシーズン券購入補助事業</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニア水泳教室の実施</li> <li>・小学校親善クロスカントリースキー大会の開催</li> <li>・市民スポーツフェスティバル事業の実施</li> <li>・各種スポーツ教室等の実施</li> <li>・(新規)部活動地域移行業務</li> <li>・スキーリフトシーズン券購入補助事業</li> </ul>

4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	12,582	13,834	15,867	15,500	15,500	73,283	
財源内訳							
特定財源	817	3,802				4,619	
一般財源	11,765	10,032				21,797	

5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終目標値	単位
1		各種スポーツ教室等の参加者数 市民スポーツフェスティバル及びEスポに委託している各種教室等の参加者数	8014	目標値 8,200 実績値 9,555 達成率 116.5%	8,200 10,235 124.8%	8,200 %	8,200 %	8,200 %	8,200	人/年
2		体育施設利用者数 体育館等の屋内体育施設、野球場・テニスコート・グラウンド等の屋外体育施設の個人利用者延べ人数	167895	目標値 256,000 実績値 186,012 達成率 72.6%	256,000 186,097 72.7%	256,000 %	256,000 %	256,000 %	256,000	人/年
3				目標値 実績値 達成率 %						
4				目標値 実績値 達成率 %						



## 6. その他特記事項

令和5年度から中学校部活動の地域移行に向け、関係団体と連携しながら順次可能な種目から移行を進め、令和7年度には休日の完全移行に向け進めていきます。

## 7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
3-1-1 健康・福祉 健康づくりの推進	各種スポーツ教室やスポーツフェスティバルを実施することによって、様々なスポーツや種目に取り組むことができます。子どもから高齢者まで幅広い市民からの参加が期待でき、運動習慣の定着によって健康づくりの推進へ貢献できると考えます。
5-5-1 教育・文化 誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進	2021年に開催されたオリンピック・パラリンピックによって、新しい競技や障がい者スポーツへの関心が高まっているため、市民のニーズを把握し、環境を整備することで誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進に貢献できると考えます。

## 8. 事務事業の実績と成果

実績	寿和温泉ジュニア水泳教室やスキーリフトシーズン券購入補助事業は、前年の実績を上回る結果となりました。広報や申請方法を工夫したことが良い結果につながった要因と考えます。また、各種スポーツ教室やスポーツフェスティバルの参加者数も目標値を上回る結果となりました。新型コロナウイルス感染症の影響により中止となってしまった事業がいくつかありましたが、徐々にコロナ禍前の形で実施できるようになってきています。
成果	各種スポーツ教室の実施についてはエンジョイススポーツクラブ魚沼に委託しています。エンジョイススポーツクラブ魚沼へ委託することにより、専門知識を持つスタッフが指導し、市民の多様なニーズに合った事業を実施しました。また、体力測定会や親子を対象としたイベント型の運動教室などを企画し、未就学児から中高年まで各年齢に合った運動プログラムを提供することができました。特に、親子や子どもを対象とした事業は、運動遊びによる子どもの運動能力の向上を主な目的として実施し、親や保育現場にとってもスポーツや体の動かし方について理解を深める場となりました。





## 9. 事後評価（担当課評価）

	関連施策名	貢献度評価		評価理由（施策に対してどのように貢献したか）
	3-1-1 健康・福祉 健康づくりの推進	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各種スポーツ教室やスポーツフェスティバルの開催により、定期的な運動習慣を身につけ、病気や怪我の予防ができ、ジュニア水泳教室やスキーリフトシーズン券購入補助により子どもの体力づくりに貢献できました。
5-5-1 教育・文化 誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	スポーツ活動やレクリエーションに参加することで健康増進や生きがいづくりが期待でき、市民同士のコミュニケーションを図ることで地域も元気になる生涯スポーツの推進に貢献できました。	
施策への貢献度		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
事業の達成度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）	
	<b>B</b>	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない	寿和温泉ジュニア水泳教室、スキーリフトシーズン券購入補助事業は前年の実績を上回り、各種スポーツ教室等の参加者も目標値を上回りました。体育施設の利用者数や運動の実施率をさらに向上させるには、子どもや高齢者だけでなく、大人世代の関心を高める必要があると考えます。	
事業の課題	幅広い年齢層の市民から参加してもらうことが目標ですが、実施者が固定されていたり年齢層が高くなっているのが課題です。			
今後の方向性	2021年に開催されたオリンピック・パラリンピックにより新しい競技や障がい者スポーツへの関心が高まっているため、体験会などのイベントを行い、市民のニーズを把握し、新しい取り組みを定期的な委託事業に組み込んでいきたいと考えています。また、中学校部活動のスムーズな地域移行に努めます。			
外部評価	子どもたちの興味や関心を伸ばすこと、心身の健やかな成長を確保することや、市民の健康づくりでは、運動習慣の定着化が大切なことと考えます。外部団体と連携した教室やフェスティバルの開催による成果を高く評価します。今後も事業の推進に努めてください。			

## 第二次総合計画後期基本計画実施計画事業シート 兼 事務事業評価シート

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

## 1. 基本情報

事業No.	139	事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業				評価担当	部	教育委員会
重点	重点	開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	3	課	子ども課
		終了(予定)年度	令和 7 年度					係	児童福祉係
対象	18歳以下を 養育している世帯	区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード	項目	2	目	2	担当者	
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策				まち・ひと・しごと総合戦略					
重点施策	3-3	福祉の充実	関連目標	3	婚姻・出産・子育ての希望がかなえられる環境をつくる				
関連する分野別施策番号			施策名						
3-2-1	健康・福祉	子育て支援							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs					SDGs アイコン	SDGs アイコン	SDGs アイコン		

## 2. 事業の目的

対象世帯への医療費助成により、経済的負担の軽減を図り、生活の安定と子どもの健全な育成を図ります。
--

## 3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	ひとり親家庭等の父または母や、父母に代わって児童を養育している方及びその児童 保険診療（保険適用分）にかかる自己負担額のうち一部負担金（通院530円/回、入院1,200円/ 日）を除いた額を助成。児童の一部負担金は全額助成。
令和5年度	ひとり親家庭等の父または母や、父母に代わって児童を養育している方及びその児童 保険診療（保険適用分）にかかる自己負担額のうち一部負担金（通院530円/回、入院1,200円/ 日）を除いた額を助成。児童の一部負担金は全額助成。

## 4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	15,449	17,346	17,233	17,233	17,233	84,494	
財源内訳	特定財源	7,290	7,386			14,676	
	一般財源	8,159	9,960			18,119	

## 5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3 実績					最終目標値	単位
				R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績		
1		受給者証更新申請率 更新期限内に更新申請した割合	100	目標値	100	100	100	100	100	%
				実績値	100	99.2				
				達成率	100.0%	99.2%	%	%		
2				目標値						
				実績値						
				達成率	%	%	%	%		
3				目標値						
				実績値						
				達成率	%	%	%	%		
4				目標値						
				実績値						
				達成率	%	%	%	%		



6. その他特記事項

--

7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
3-2-1 健康・福祉 子育て支援	ひとり親家庭等の経済的負担軽減を図り、生活の安定と子どもの健全な育成に貢献しています。

8. 事務事業の実績と成果

実績	市民課との連携を図り、対象となる人への申請手続きの促進に努めました。令和5年3月末時点で助成対象者609人、医療費の助成件数6,041件（現物給付）、総額で16,918千円の助成を行うことができました。また、受給者証の更新についても助成対象者の一部は期限後となりましたが、申請手続きを行っていただきました。
成果	ひとり親家庭等の父または母や、父母に代わって児童を養育している人及びその児童に係る保険診療（保険適用分）の自己負担額に対して助成を行い、対象家庭の経済的な負担軽減を図ることができました。また、令和3年1月より児童の自己負担額については、子ども医療費助成事業との公費併用で全額無償化としており、更なる負担軽減を図ることができました。

9. 事後評価（担当課評価）

施策への貢献度	関連施策名	貢献度評価	評価理由（施策に対してどのように貢献したか）	
	3-2-1 健康・福祉 子育て支援	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	保護者の経済的な負担軽減を図り、安心して子育てのできる環境づくりに貢献しました。
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
	高い やや高い やや低い 低い			
事業の達成度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）	
	<b>A</b>	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない	申請による認定者全員に受給者証を交付し、医療費助成制度を利用していただきました。	
事業の課題	出産・子育て環境の整備等の支援体制の充実を図るとともに、子育て支援にかかる情報発信（市報やホームページへの掲載、パンフレットの窓口設置など）により、引き続き制度の周知を図り適正な助成に努める必要があります。			
今後の方向性	今後も保護者の経済的な負担軽減を図り、安心して子育てのできる環境整備のため、継続して事業を実施する必要があります。			
外部評価	自治体として重要な事業であり、ひとり親家庭の生活安定のため、経済的負担の軽減を図り、子どもの健全な育成ができるよう努めており、医療費の適正な助成がされています。家庭の事情により申請手続きが難しい状況もあると思いますが、今後も事業の推進に努めてください。			

第二次総合計画後期基本計画実施計画事業シート  
兼 事務事業評価シート

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

1. 基本情報

事業No.	169	事業名	地域療育支援事業			評価担当	部	教育委員会	
重点		開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	3	課	子ども課
		終了(予定)年度	令和 7 年度					項	2
対象	就学前児童	区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード	目	6	担当者			
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策							まち・ひと・しごと総合戦略		
重点施策				関連目標	3	結婚・出産・子育ての希望がかなえられる環境をつくる			
関連する分野別施策番号			施策名						
3-2-2	健康・福祉	子育て環境の充実							
5-2-1	教育・文化	明るくのびのびとした子育て							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs						SDGsアイコン	SDGsアイコン		

2. 事業の目的

発達障害またはその疑いのある幼児の集団適応、2次障害の発生予防、保護者の育てにくさの軽減を図るために、療育教室や、園訪問等を行います。また、保育職員の発達障害への理解を深め、資質の向上のための研修会を行います。

3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	発達障害のある幼児と保護者支援のため、療育教室や園訪問等の実施 ・就園前療育教室（つくしプレイ教室） 57回 280人 ・就学前療育教室（ステップアップ教室） 48回 288人 ・保育園等訪問巡回相談 13園 50人 ・ステップアップ教室のスーパーバイズ 1回
令和5年度	発達障害のある幼児と保護者支援のため、療育教室や園訪問等の実施 ・就園前療育教室（つくしプレイ教室） 68回 280人 ・就学前療育教室（ステップアップ教室） 48回 288人 ・保育園等訪問巡回相談 12園 50人 ・ペアレント・プログラム 6回 10人 ・職員及び市内療育事業従事者研修実施

4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	8,781	9,466	11,110	11,110	11,110	51,577	
財源内訳	特定財源 0	0				0	
	一般財源 8,781	9,466				18,247	

5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位	
				実績	実績	実績	実績	実績			
1		就園前（つくしプレイ）教室参加者 6人×1クラス×46回≒延280人	274	目標値	280	280	280	280	280	280	人／年
				実績値	334	355					
				達成率	119.2%	126.7%	%	%	%		
2		就学前（ステップアップ）教室 6人×3クラス×16回≒延288人	336	目標値	288	288	288	288	288	288	人／年
				実績値	320	282					
				達成率	111.1%	97.9%	%	%	%		
3				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		
4				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		

## 6. その他特記事項

--

## 7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
3-2-2 健康・福祉 子育て環境の充実	子どもの将来に向けて、発達課題が問題行動等の二次障害につながらないように早期発見・早期支援することで、乳児期からの健やかな発達支援に貢献します。
5-2-1 教育・文化 明るくのびのびとした子育て	就園や就学に向けた教室や相談を行うことで、保護者や対象児の不安感や困り感の軽減に努めるとともに、ペアレントプログラムなどの子育て講座の実施により、明るくのびのびとした子育ての手助けに貢献します。

## 8. 事務事業の実績と成果



実績	療育教室、ペアレントプログラム、保育園等訪問巡回相談等を実施し、保護者支援や、スムーズな入園・就学のために各機関や園、学校との連携を丁寧に行いました。また、発達支援コーディネーターのフォローアップ研修会等の実施により、保育園等の発達障害児支援体制の強化を図る取組を進めることができました。 事業を進めるにあたっては、子どもの発達課題と保護者の育児不安について、関係部署、関係機関との連携及び情報共有により、個々の子どもの発達に即した支援と保護者支援を行いました。
成果	未就園児、就学児対象の療育教室は定数を超える申し込みがありました。実施にあたっては、適宜、専門員のアドバイスを受けながら、児や保護者に寄り添った支援や教室運営を行いました。また、入園、就学にあたり各機関や園、学校との連携を密に行うとともに、個々の引き継ぎ書「あゆみ」を作成し、丁寧な引き継ぎを行うことで、スムーズな入園、就学につなげるなど、保護者の育児不安の軽減を図ることができました。

## 9. 事後評価（担当課評価）

施策への貢献度	関連施策名	貢献度評価		評価理由（施策に対してどのように貢献したか）
	3-2-2 健康・福祉 子育て環境の充実	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
5-2-1 教育・文化 明るくのびのびとした子育て	高い やや高い やや低い 低い	やや高い		保護者の悩みに寄り添い専門員からの適切なアドバイスを伝え、不安の軽減や、スムーズな入園、入学につなげました。利用者のアンケートからは90%程が期待通りだったという評価でした。
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
事業の達成度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）	
	A	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない		療育教室は目標人数に近い利用があり、終了後のアンケートも90%程の方から満足だったという回答を得たのでA評価とします。ペアレントプログラムはコロナ禍のためか目標人数が達せられませんでした。参加希望者が増えるよう働きかけたいと思います。
事業の課題	発達に課題のある子どもが増加傾向にあると言われており、今後療育教室への参加希望が増加することが予想されますが、個々の特性に合わせた丁寧な対応が必要とされる事業のため、担当職員の人数や、他の療育事業との調整を行いながら、支援体制を更に強化していく取組が必要です。			
今後の方向性	発達に課題のある児は増加傾向にあると言われています。特性のある児とその保護者が、安心して相談や入学準備が出来るよう、他機関や母子保健係との連携を強め、事業を継続していきます。また、地域療育研修会などの開催を計画し、保育園等の支援体制の充実に努めます。			
外部評価	親にとって子どもの発達障害は大変な悩みとなり対応も難しく、様々な場面で支援が必要な場合があります。相談しやすい環境作りや、対象者への年齢別の教室開催、支援者の研修などの実績、二次障害につながらないように早期発見に努めていることは大きく評価します。今後も保護者に寄り添った子育て支援に取り組むとともに、事業の推進に努めてください。			

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

## 1. 基本情報

事業No.	198	事業名	不妊・不育治療費助成事業				評価担当	部	教育委員会
重点	重点	開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	4	課	子ども課
		終了(予定)年度	令和 7 年度					項	1
対象	市民	区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード	目	2	担当者			
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策				まち・ひと・しごと総合戦略					
重点施策	3-3 福祉の充実	関連目標	3	結婚・出産・子育ての希望がかなえられる環境をつくる					
関連する分野別施策番号		施策名							
3-2-1	健康・福祉	子育て支援							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs			SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	

## 2. 事業の目的

不妊・不育治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊・不育治療を行っている市民の負担軽減を図ります。

## 3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	不妊・不育治療に要する費用の一部を助成。 ・生殖補助医療（体外受精及び顕微授精） 1回の治療につき15万円を上限に6回まで助成（出産等による回数リセット有） ・一般不妊治療（上記以外で医師が認めた不妊治療） 1年度1回5万円を上限に5年度まで助成（出産等による回数リセット有） ・不育症治療費助成 1回の治療につき15万円を上限に通算6回まで助成
令和5年度	不妊・不育治療に要する費用の一部を助成 ・生殖補助医療（体外受精及び顕微授精） 1回の治療につき15万円を上限に6回まで助成（出産等による回数リセット有） ・一般不妊治療（上記以外で医師が認めた不妊治療） 1年度1回5万円を上限に5年度まで助成（出産等による回数リセット有） ・不育症治療費助成 1回の治療につき15万円を上限に通算6回まで助成

## 4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	3,236	4,378	4,450	4,450	4,450	20,964	
財源内訳	特定財源	3,100	3,000			6,100	
	一般財源	136	1,378			1,514	

## 5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1		(参考) 生殖補助医療申請件数	20	目標値 実績値 29	39				-	件
				達成率 %	%	%	%	%		
2		(参考) 一般不妊治療申請件数	20	目標値 実績値 12	10				-	件
				達成率 %	%	%	%	%		
3		(参考) 妊娠成立夫婦/制度利用夫婦	11/29組	目標値 実績値 6 /27組	17/33組				-	組
				達成率 %	%	%	%	%		
4				目標値 実績値						
				達成率 %	%	%	%	%		

## 6. その他特記事項

- ・不妊治療についてはR4. 4. 1から健康保険の適用となりました（一部適用外）。
  - ・H31から不育治療費も助成対象としましたが申請の実績はありません。
- ※不育症とは、妊娠はするが流産、死産を繰り返してしまう病態をいいます。

## 7. 事前評価（担当課評価）

関連施策	施策のどこに貢献するか
3-2-1 健康・福祉 子育て支援	不妊・不育治療費を助成することにより、子どもを持ちたいと希望する方の経済的な負担の軽減を図ります。

## 8. 事務事業の実績と成果



実績	不妊治療にかかる経済的負担の軽減を図るため、治療費の助成を行いました。 ・生殖補助医療 39件、助成額3,994千円 ・一般不妊治療 10件、助成額384千円
成果	治療費の一部助成を行うことで子どもを望むご夫婦の不妊治療を始めるきっかけの一つになっていると思われまます。

## 9. 事後評価（担当課評価）

施策への貢献度	関連施策名	貢献度評価	評価理由（施策に対してどのように貢献したか）
	3-2-1 健康・福祉 子育て支援	高い やや高い やや低い 低い	子どもを望む人に対して助成を行うことで、治療に取り組みやすい環境になるため、子育て支援に貢献していると思われまます。
		高い やや高い やや低い 低い	
		高い やや高い やや低い 低い	
		高い やや高い やや低い 低い	
	高い やや高い やや低い 低い		
事業の達成度	達成度評価		評価理由（指標の達成状況・成果等）
	<b>A</b>	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない	不妊治療により実際に妊娠に至った人もおり、治療を行うきっかけになっていると考えられます。
事業の課題	不妊治療を希望する人が助成を受けられるよう周知を進めます。		
今後の方向性	不妊治療を行う方の経済的な支援はこれからも継続していく必要があります。		
外部評価	子育て世代には、子どもを産み育てる前段階の重要な事業と考えます。不妊治療については保険適用になったとはいえ、精神的な負担は大きく、他の支出も多いと思われまますので、今後も広報の工夫や相談しやすい環境作りにより、子どもを産み育てる希望と期待に応えるため、引き続き事業の発展と推進に努めてください。今後の努力に期待するとともに、事業成果を高く評価します。		

シート作成年度	R5
評価対象年度	R4

## 1. 基本情報

事業No.	201	事業名	乳幼児健診事業				評価担当	部	教育委員会
重点	重点	開始年度	令和 3 年度	会計	一般	款	4	課	子ども課
		終了(予定)年度	令和 7 年度					項	母子保健係
対象	乳幼児	区分	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード	目	1	担当者			
事業が関連する総合計画後期基本計画における施策				まち・ひと・しごと総合戦略					
重点施策	3-3	福祉の充実	関連目標	3	結婚・出産・子育ての希望がかなえられる環境をつくる				
関連する分野別施策番号			施策名						
3-2-1	健康・福祉	子育て支援							
市国土強靱化地域計画推進方針関連番号									
関連SDGs			SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン	SDGsアイコン		

## 2. 事業の目的

乳幼児健診を通じて、乳幼児の健康管理及び健康増進を図り、子どもの成長や発達段階に応じた育児支援を行い、育児不安の軽減を図ります。

## 3. 主な事業内容

年度	事業内容
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別健診（随時） 対象：1か月児健診（費用助成）・9-10か月健診（医療機関委託）</li> <li>集団健診（各12回/年） 対象：4か月児健診・1歳6か月児健診・2歳児健診・3歳児健診（屈折検査による眼科健診）</li> <li>新生児聴覚検査費の助成</li> </ul>
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別健診（随時） 対象：1か月児健診（費用助成）・9-10か月健診（医療機関委託）</li> <li>集団健診（各12回/年） 対象：4か月児健診・1歳6か月児健診・2歳児健診・3歳児健診（屈折検査による眼科健診）</li> <li>新生児聴覚検査費の助成</li> </ul>

## 4. 総事業費

(単位：千円)

年度	R3	R4	R5	R6	R7	合計	備考
金額区分	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額		
金額	6,301	7,138	8,841	8,841	8,841	39,962	
財源内訳	特定財源	4,700	3,109			7,809	
	一般財源	1,601	4,029			5,630	

## 5. 指標の設定

No.	関連事業No.	指標名 指標の説明	現状値 (R2年度)	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位	
				実績	実績	実績	実績	実績			
1		健診受診率（4か月、1歳6か月、3歳児健診） 全健診の平均受診率	99.8	目標値	100	100	100	100	100	%	
				実績値	99.7	100					
				達成率	99.7%	100.0%	%	%			
2		子育てが楽しいと感じる人の割合（3歳児） 3歳82.5%（R1）	82.7	目標値	83.5	84.5	85.5	86.5	87.5	87.5	%
				実績値	82.2	81.3					
				達成率	98.4%	96.2%	%	%			
3		（参考）乳児一般健康診 査受診者数 9-10か月児健診受診者	213	目標値					-	人	
				実績値	172	163					
				達成率	%	%	%	%			
4				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%			



6. その他特記事項

--

7. 事前評価（担当課評価）


関連施策	施策のどこに貢献するか
3-2-1 健康・福祉 子育て支援	子どもの順調な発育発達が促されるよう子育て支援の場として、子どもが健やかに成長できる環境を整えていきます。

8. 事務事業の実績と成果

実績	○乳幼児一般健康診査 ・4か月児 12回 153人 ・1歳6か月児 12回 186人 ・2歳児 12回 191人 ・3歳児 12回 193人 ○乳児1か月健診(償還払) 113件、助成額400千円 ○新生児聴覚検査(償還払) 106件、助成額807千円 ○乳児一般健康診査(医療機関委託) 163人 ○乳幼児精密検査(医療機関委託) ・乳児 16人 ・1歳6か月児 4人 ・3歳児 28人
成果	乳幼児健診を通じて、乳幼児の健康管理及び健康増進を図り、子どもの成長や発達段階に応じた育児支援を行い、育児不安の軽減を図りました。 弱視の第一原因である屈折異常の早期発見、早期治療につなげるために、令和4年度(令和5年1月)から3歳児健診で屈折検査機器を使用するの視力検査を開始しました。開始してすでに弱視が発見され、早期治療につながったケースもあり、子どもの視力の正しい発達を促すために効果的な検査であると言えます。

9. 事後評価（担当課評価）

施策への貢献度	関連施策名	貢献度評価	評価理由（施策に対してどのように貢献したか）	
	3-2-1 健康・福祉 子育て支援	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	子どもの健やかな成長発達の確認を行うことで、疾病の早期発見、早期療育が可能になります。
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
		高い やや高い やや低い 低い		
事業の達成度	達成度評価		評価理由(指標の達成状況・成果等)	
	<b>B</b>	S：目標超過達成 A：目標達成 B：相当程度進展あり C：進展が大きくない D：目標に向かっていない	健診受診率は目標値を達成しており、対象児の健康状態や子育ての状況を確認できる場になっています。また、屈折検査による視力検査の導入により、健診内容の充実を図り、より子どもたちの発育発達を支援する環境を整備しました。	
事業の課題	子どもの順調な発育発達が促されるよう子育ての支援の場としての充実も図っていきます。 また、育児不安の軽減のため、保護者に寄り添う相談支援や子育てに関する健康教育等の実施を継続していきます。			
今後の方向性	平成27年度から国の「すこやか親子21」第二次計画が開始され、育てにくさを感じる親に寄り添う支援や、妊娠期からの児童虐待防止対策といった重点課題が示されています。これらの達成に向けて乳幼児健診事業を実施していきます。			
外部評価	自治体として重要な事業であり、子どもの順調な発育発達は親だけでなく社会全体の願いであると考えます。乳幼児の発育の適切な時期に検査健診を行い、高い達成率を示しています。また弱視等のスクリーニングを目的に、県内でも早期に開始した屈折検査も高く評価します。今後も丁寧な対応により、事業の発展と推進に努めてください。			



教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び  
評価の結果に関する報告書（令和4年度分）

発行 令和5年 11月

編集 魚沼市教育委員会

〒946-8601 新潟県魚沼市小出島 910 番地

TEL 025-793-7452 FAX 025-792-1261

URL <https://www.city.uonuma.niigata.jp/>